

令和6年度 子ども若者★いけんぷらす
「教育にかかるお金の支援があることを知ってもらうには？」
アンケート調査結果（いけんのまとめ）

○調査概要

(1)調査テーマ

- 教育にかかるお金の支援があることを知ってもらうには？

(2)調査対象

- 中学生以上のぷらすメンバー

(3)回収状況

- 回答数:96 件

(4)調査方法

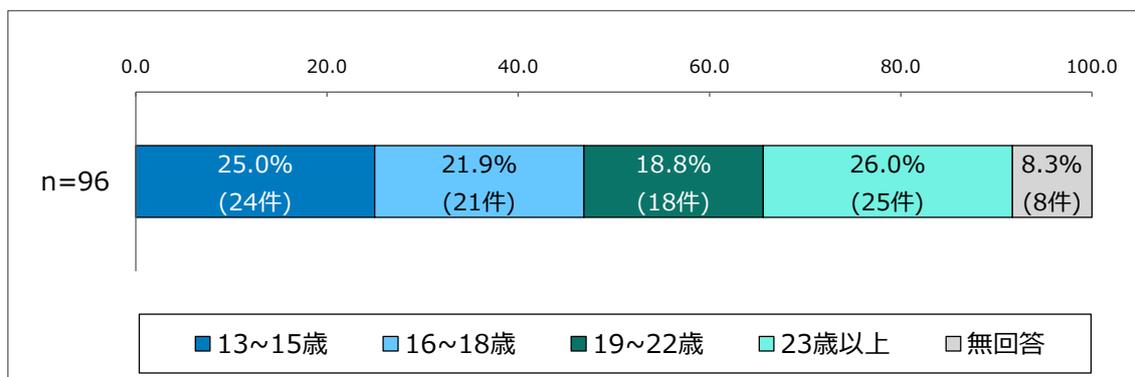
- WEB アンケート調査

(5)調査期間

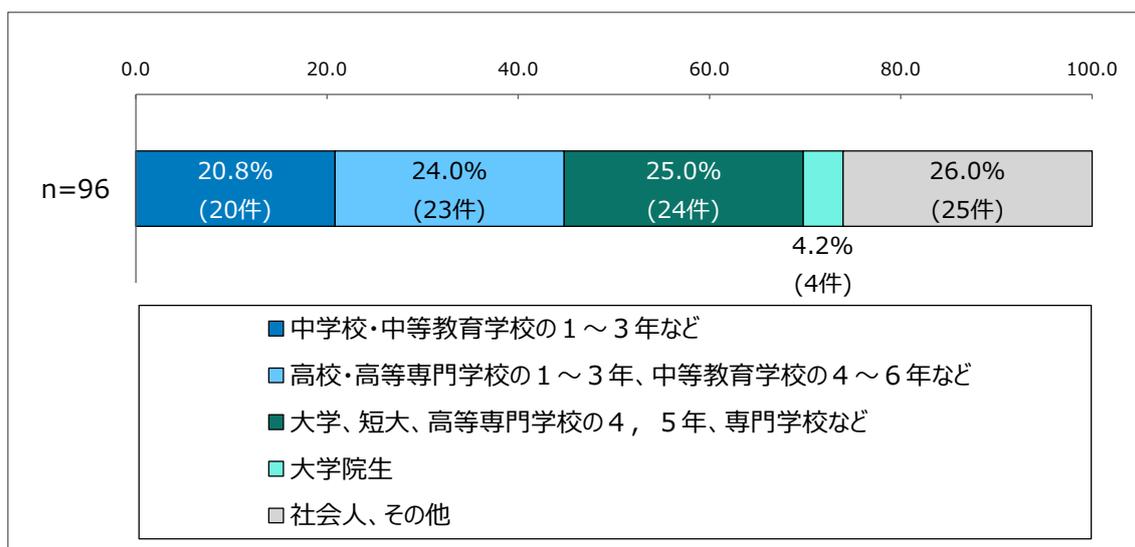
- 令和6年12月10日(火)~12月22日(日)

○調査結果

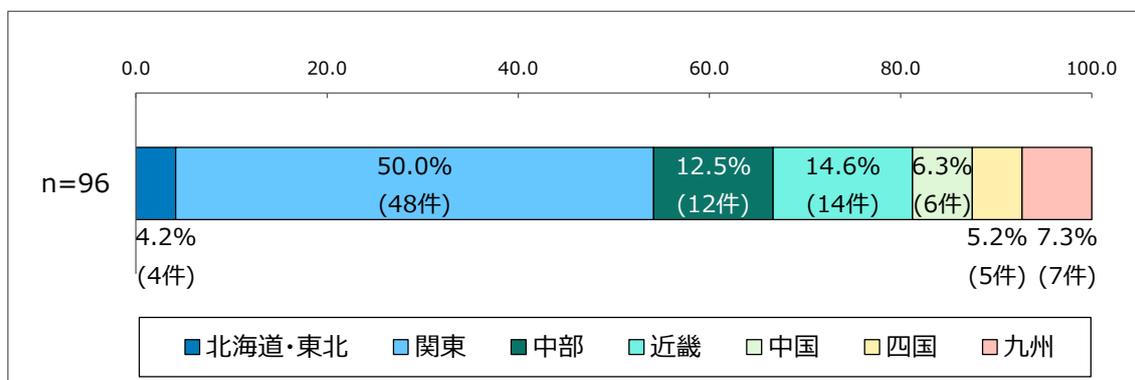
Q1. あなたの年齢(令和6年12月1日時点)を教えてください。(単数回答)



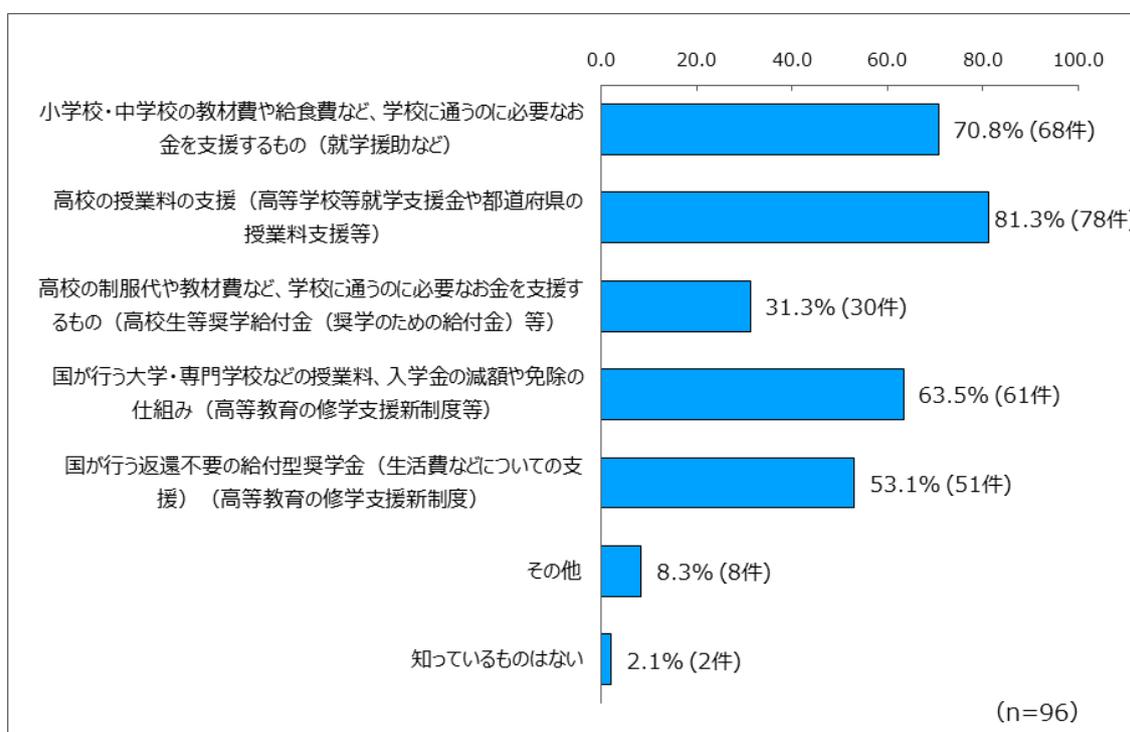
Q2. あなたは次のうちどれに当てはまりますか？(令和6年12月1日時点)(単数回答)



Q3. お住まいの地域を教えてください。(単数回答)



Q4. 教育にかかるお金の支援のうち、聞いたことがあるものや知っているものをすべて選択してください。(複数回答)

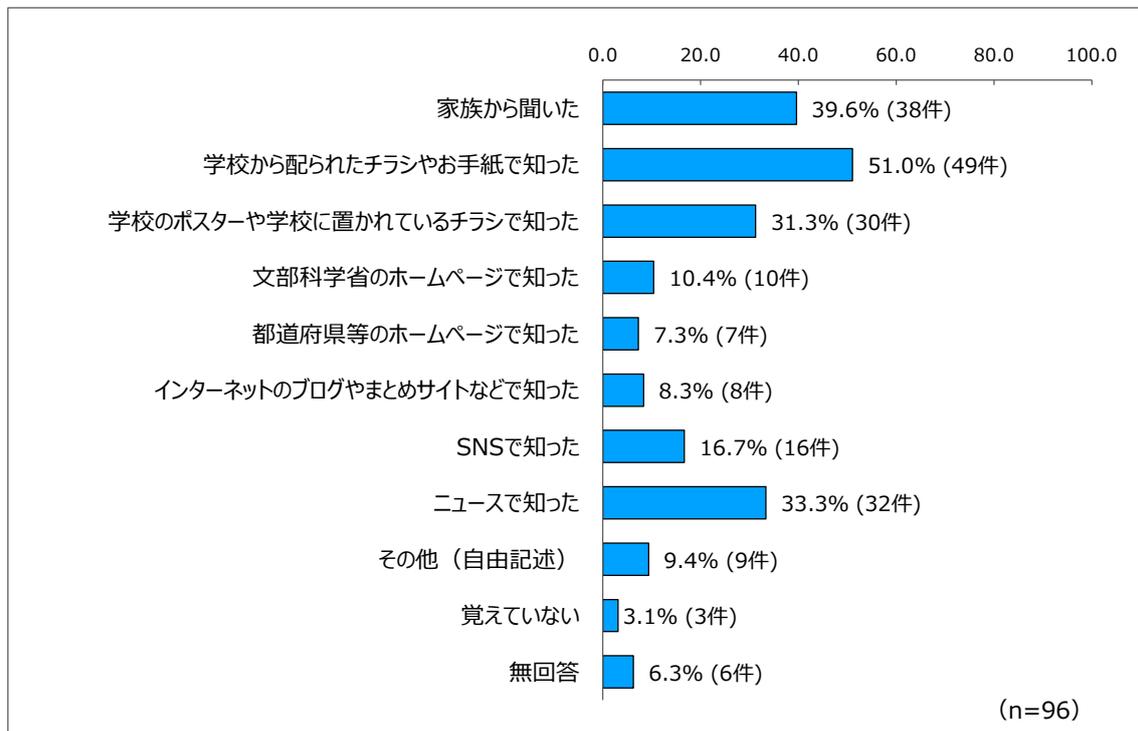


Q4-SQ. (前の設問で「その他」を選んだ方のみ)どんな支援か教えてください。(自由記述・任意回答)

- 奨学金
- 教育ローン
- 学校独自の奨学金など
- 民間の財団による奨学金(似鳥国際奨学金財団、山田進太郎 D&I 財団、各学校での奨学金制度、海外留学・進学のための奨学金の財団)
- 会社や各種団体による大学就学用の給付金(返済義務なし)
- あしなが育英会(病気や災害、自死(自殺)などで親を亡くした子どもたちや、障がいなどで親が働けない家庭の子どもたちを奨学金、教育支援、心のケアで支える民間非営利団体。)
- 夢を応援基金(ひとり親家庭支援奨学金制度)(ひとり親世帯(母子家庭等)であり、就学に関して経済的に困難な中学3年生や高校生等が対象。)
- 子供の、特に学びに関わることについての支援全般
- NPO 法人による支援。
- 病院

- 年少扶養控除の代わりに子供手当になったが、子供手当が減額され、最低限の生活費にまで課税されている。給与から税金を天引して給付するより年少扶養控除を復活させることで、金銭面の負担が軽くなるのに国がやらない。

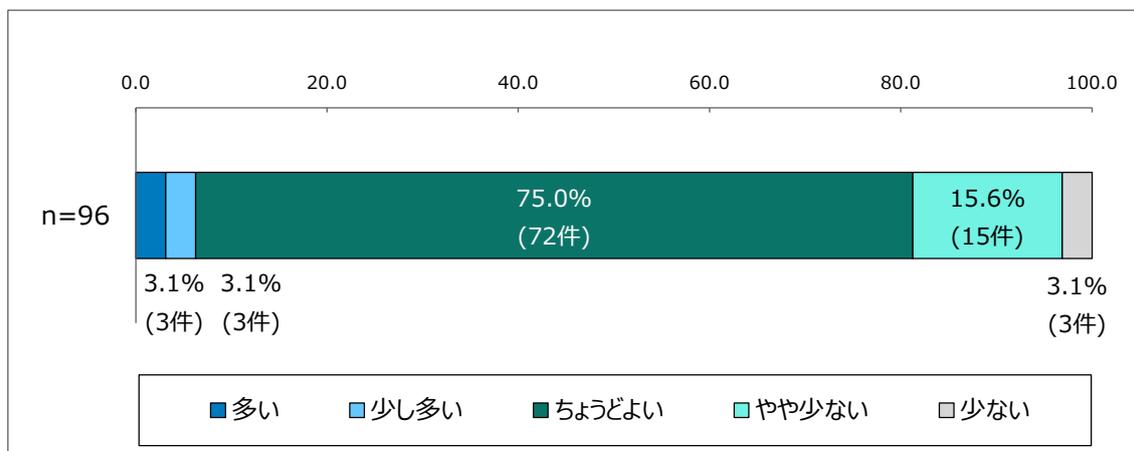
Q5. Q4で「聞いたことがある・知っている」と回答した支援について、どこで知りましたか。
(複数回答)



Q5-SQ. (前の設問で「その他」を選んだ方のみ)どこで知ったか教えてください。(自由記述・任意回答)

- 大学で教職課程を受講しているため
- 専門学校で勉強したため
- 学校で行われる説明会
- 先生に教えてもらった
- 友達
- 仕事で低所得世帯の子どもたちに対する学習支援をしているため、職場で知りました
- 「あしなが育英会」はあしなが学生募金の募金活動をニュースで見知った。「夢を応援基金」はローソンの店内放送を聞いて。
- 国などによる支援制度を分かりやすく伝えるためのアプリの開発に携わったことがあり、その開発過程で知った
- 選挙

Q6-1-a. 【チラシのオモテ面(1枚目)】文字の量はどうか。(単数回答)



Q6-1-a-SQ. 【チラシのオモテ面(1枚目)】前の質問でそのように回答した理由を教えてください。また「文字の量」について、もっとこうしたほうが良いという点があれば理由とともに教えてください。(自由記述・任意回答)

<「多い」と回答した人>

- 支援を受けることが恥だと考えている人や、自分の世帯は対象外だと考えている人は多いと思う。制度名よりも、「年収〇〇円以下なら受けられる」とか「〇〇%の人が利用している」といった事を端的に表示したほうがいい気がする。
- こども家庭庁の予算をこどもたちへの直接的な支援に使って欲しい。チラシ屋の利権に横流しするな。

<「少し多い」と回答した人>

- パッと見て分かる情報が少し少ないと思ったから。
- 小学生,高校などの各区切りの中、丸に矢印で記載している各援助の名称は必要ないと思うため。

<「ちょうどよい」と回答した人>

- とてもみやすい。
- 字の大きさがちょうどよく、読みやすい。文字の多さによる抵抗感がない。
- 絵もあって良いと思います。字を大きくしても良いと思います(ポスターの場合そっちの方が見やすいかと思います。)
- 画像もあることで身の回りの目に付くものに支援があると気づけると思ったから。
- もう少し文字の大きさを大きくして、支援内容が目立つようなデザインになると目を引くと思います。
- 必要なことがわかりやすく、最低限の文量でまとまっているから。
- 字数はそこまで多くなく、色使いもちょうどよいから。

- 漢字の文字量が多すぎると固い印象を持ち、内容が入ってきづらい印象。助詞を挟んで柔らかい表現にした方がわかりやすいと思う。
- 量は適切だと思う。レイアウトでもっと工夫できる気がする。
- 必要最低限のことが書いてあり、とても読みやすい。
- 伝えたいことが端的に分かりやすくまとまっていると思います。
- オモテ面としては見やすい配置と文字量だと思う。
- 画質をよくすれば、もっと良くなると思う。
- 制度や奨学金の名前だけでなく何のためのお金かの変えてある所が良い。
- 空白部分とのバランスがちょうど良く感じる。
- イラストもあってわかりやすいと思ったから。
- 何をメインにしているか具体的で良い。矢印の横の文字(①～)のところを少し大きくした方が良い。
- 誰が見ることを前提としているのか？子どもたち自身に知らせたいのならもう少し大きめやUD フォントを使う方がよいかも。
- 補足部分だけに文字が使われているから。
- 世帯収入(親の収入)で制限がかかっており、希望すれば誰でも受けられる支援ではないことを明記してほしい。
- 僕は高校一年で4月に入学しました。給付金などありますが、たちまち纏まったお金が必要な事。タブレットだけでも、母がかなりの金額を払っていたのを覚えています。立て替える制度ではなく、立て替えをしない制度を作してほしいです。
- とくになし。

<「やや少ない」と回答した人>

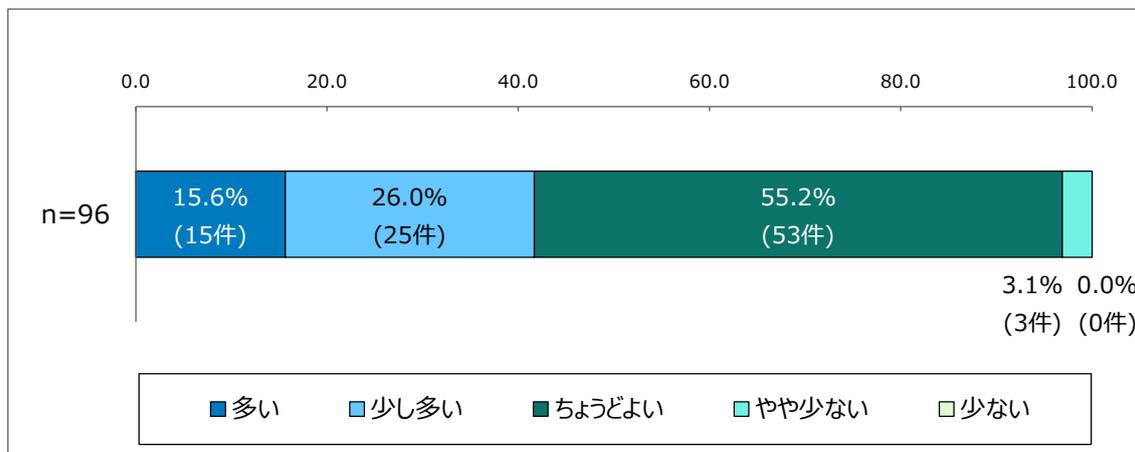
- もう少し詳しく書かないと、知っている人はそもそも見ないし、そうでない人には抽象的すぎて理解できない。誰に読んでもらうか対象が不明瞭に感じる。
- 支援が行き届かないご家庭の中には資料を理解できない or 読まない or 読める大人が余り家に居ない等も含まれると思うので学校で配布して裏面に詳細書くなら表面は子供本人や外国人等日本語力が低い方でも何を書いてあるか理解出来る内容にすべき(頒布方法によっては裏面の内容を理解出来たり QR コードを代わりに読んでくれる方が居ない金銭面以前の問題パターンの支援窓口記載も要るかも知れない)。
- レイアウトなのか色なのか、興味関心を持てるものではない。シンプルなのはいい。伝えたいことも分かる。ただ、シンプル過ぎて伝わりづらさも感じます。
- 明るく仕上がっていて、とてもいいと思うが、もう少しかしこまった形にした方が保護者にしっかりと見て貰えると思う。(学校で配布する場合)。
- 余白が目立つような気がしました。

- 数字も表面にあるとイメージが付きやすいかも。QR コードは表面にある方が良い。裏まで見てくれるとは限らない。
- 上から小中学生、高校、大学の順番の方がわかりやすい。矢印の大きさは小さくて良いと思う。
- 上の文字の密集度が高く、下の図は空白が多いため直感的に上の文が目に入ってこない。

<「少ない」と回答した人>

- どのようなものに使っていいお金なのかよくわかりません。例えば、体操服のような例が書いてあるとよいと思います。
- オモテ面に対象となる世帯の言及がないのがとても悪質。一般企業でこのレベルの誇大広告をすると消費者庁から指導が入るレベルです。せめてオモテ面の隅に小さな文字で対象世帯への言及を行ってください。これは一例ですが、オモテ面を読んだ後にウラ面を読み、そこで自分の家庭が対象外だと分かった場合、そこまでの徒労感からそのチラシ以降に行われる施策への関心が薄れてしまいます。総じて、こども家庭庁へのネガティブキャンペーンとも呼べるレベルの悪質さです。

Q6-1-b. 【チラシのウラ面(2枚目)】文字の量はどうか。(単数回答)



Q6-1-b-SQ. 【チラシのウラ面(2枚目)】前の質問でそのように回答した理由を教えてください。また文字の量について、もっとこうしたほうが良いという点があれば理由とともに教えてください。(自由記述・任意回答)

<「多い」と回答した人>

- 文字が多く、読む気にならない。
- 文字量が多く読み込み理解するのに時間がかかる。文字を羅列するだけでなく、種類ごとにカテゴリーを分け、色や丸い図式を用いて、見やすさにこだわった方が良いと思う。

- テキストのみの説明が多く目が滑る。表形式で対象者や支援額を視線移動で探しやすいようにした方が疲れずに自身に関連する項目にアクセスができる。
- 文字の量は多いと感じましたが、伝えたい情報の量を考えると文字の量を減らすのも難しいだろうと思いました。対象や金額文字の量は多いと感じたが、伝えたい情報の量を考えると文字の量を減らすのも難しいだろうと思いました。対象や金額といった項目ごとに適切なインデントをつけて、情報を見やすくするのがいいのではないかと思います。

<「少し多い」と回答した人>

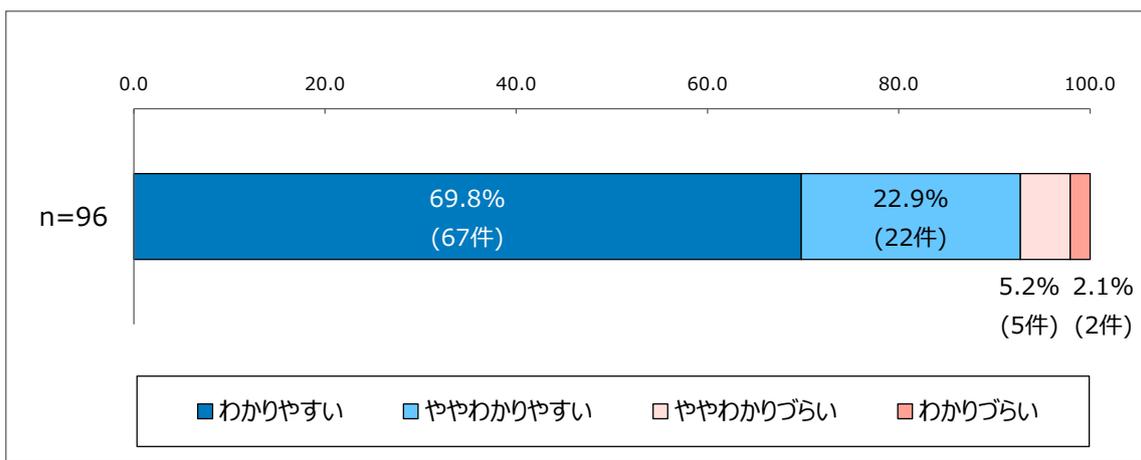
- 必要最低限の説明はできているが、黒い文字だけのため、文量が多く見える。文量を減らせない場合は、赤文字や青文字で対象世帯や重要事項を強調する工夫が必要。
- 文字ばかりで読んでも難しいです。年収とか、棒グラフで横に解説があったらもう少し分かりやすいのではと思いました。
- 文字数を少なくしてほしい理由・グラフや図のほうがわかりやすいから。
- 文字が小さい。
- 条件は分かりやすい方がいいと思う。大学・高校・小中学校に分けるのはいいが、次は年収条件などに応じ、「年収〇〇円以下なら…〇〇の制度が受けられる」と明記したほうがいい。
- 必要な情報ではあるが、本当に詳しく知りたい人は QR コードから見ると思うので、もう少し簡潔にしたほうが良い。
- 少し多いけれど、重要な部分の抜き出しだと思うから、このままでいいと思う。
- 文字量に関してはこれ以上削れないと思うため、この量は仕方がないと思う。ただ、表面を見た後だとちょっと身構えるかもしれないと考えたため。
- 最低限必要な情報なので、削るのは難しいと感じた。

<「ちょうどよい」と回答した人>

- 具体性もあり、さらに情報が見ることができる QR コードもある。
- 気になったり自分が該当した分のみ詳しく学べるので良い。
- 分かりやすいです。興味があれば読みたいと思います。こちらもシンプルで伝わると思っています。
- 最低限書いてあるから。
- 簡潔にまとめられていると思います。
- 裏面は詳しいことを知りたい人が読むと思うので、そのまま良いと思う。
- 支援の名称・対象・金額・問い合わせ先がまとまっていてアクセスしやすいです。
- 上記(前の設問)と同じく、誰を対象としているのか？高校・大学生にはちょうど良いのでは。

- 表面裏面ともに小学生にはこの言葉遣いでも難しいと思います。放置家庭の子もいるので、子供が見てわかるもの、また対象年齢によってデザインや内容を分けるのはどうでしょうか。
 - 小中学校の就学援助制度は具体性にかける内容で、ここも各自治体に具体的な内容を記入してもらいたい。
 - いつから借りれるのか知りたい(制服は入学前に購入するため)。
 - 借りるためにはどういう流れになるのかを知りたい(申込や審査時期などのスケジュール)。
 - 画質をよくすれば、もっと良くなると思う。
 - 行間を空けたほうが読みやすい。
 - とくになし。
- <「やや少ない」と回答した人>
- 高校・小学校の分量が大学・専門学校よりも少なくバランスが取れていないように見えた。高校・小学校の高さを少なくしてその分、イラストを入れた方が良いと思う。
 - 情報でもう少し詳細なものが欲しい。
- <「少ない」と回答した人>
- (該当者なし)

Q6-2-a. 【チラシのオモテ面(1枚目)】言葉づかいはどうですか。(単数回答)



Q6-2-a-SQ. 【チラシのオモテ面(1枚目)】特にこの部分がわかりやすい、またはわかりにくいと思ったところがあれば理由とともに教えてください。(自由記述・任意回答)

<「わかりやすい」と回答した人>

- 具体的に授業料等書いてあるところ。
- 支援の金額は、分かるが学校じたいが適当だから、母が県の教育委員会へ電話して2回目の締め切り間近だと知って、かなりのご立腹でした。1回目事すら学校から知らされてない状況です。
- 数字があっただけで見やすい
- 色分けされていて分かりやすい。イラストがイマイチです。
- 何に対してお金をもらえるのかが分かりやすい。制度の名前を大きく書いてもどんな内容でどんなお金なのか分からないので、何に対するお金なのか大きく示すのは良いと思う。
- 全体的に小学生でも分かる言葉で書いてある。「奨学金」ではなく、「教育にかかるお金」と表現しているのが良いと思った。
- 見て分かるし、イラストがあるから分かりやすいと思ったからです。
- 全般的に分かりやすいと思う。ただ、「忘れずに手続きしてください。」は少し表現が固いと思うため、「忘れずに申し込みましょう！」など語りかけるような表現にしたほうが良いと思った。

<「ややわかりやすい」と回答した人>

- 丁寧すぎず、硬すぎないから。
- 小さい子どもや漢字が苦手な方でも読みやすいようにふりがなをふったほうが良いと思う。
- 配られたこどもや、外国人の当事者が読めるよう、ふりがなや『やさしい日本語』を書いたほうが良いと思います。
- 『お金がもらえる』は少し下品な言い回しに感じる。『〇〇(国や自治体など)が払います』や『自己負担が減ります』などでも良いと思う。
- 最初のキャッチフレーズはわかりやすいが、聞きなれない制度や支援名に抵抗感がある。簡単な説明文を付け加えてほしい。
- 制度説明の概要については問題なく説明できている。ただ、印象について論じる前に誇大広告になっている状況を直す必要がある。また、右側の矢印や絵は具体的な金額等を記載する方がインパクトが大きい。
- 支援制度の名称が長く分かりづらいと感じますが、制度の名称変更は容易では無いだろうと思うので、仕方ないかなと思います。
- 制度名は略称でも良いのではないかな。

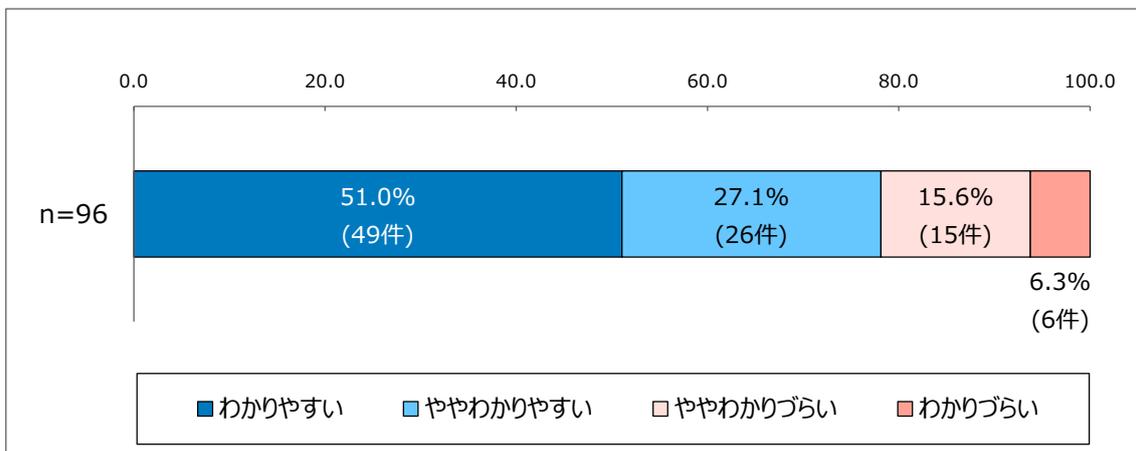
<「ややわかりづらい」と回答した人>

- 大人からしたらわかりやすいと思うが、単語が難しいので、私たちのような子どもからの理解は得られづらいと感じる。
- 小学校の、〇〇費、〇〇の無償化が何についての支援なのかわからなかった。具体的に書くべき。
- 全体的に矢印横の助成の名称が突然固いものとなっているのが不自然だと思います。いっそのこと漢字を羅列した支援名称を変更できないでしょうか。固い印象で浸透が難しいと思います。テーマの「お金がもらえます」は強調されていてわかりやすいが、世間的にやや怪しいイメージ、軽快すぎる雰囲気を感じる。また一部助成となることがわかりにくいいため、「かかるお金が減らせます」くらいが良いと思う。

<「わかりづらい」と回答した人>

- わかりづらい
- こども家庭庁の予算を子どもたちへの直接的な支援に使って欲しい。チラシ屋の利権に横流しするな。

Q6-2-b. 【チラシのウラ面(2枚目)】言葉づかいはどうですか。(単数回答)



Q6-2-b-SQ. 【チラシのウラ面(2枚目)】特にこの部分がわかりやすい、またはわかりにくいと思ったところがあれば理由とともに教えてください。(自由記述・任意回答)

<「わかりやすい」と回答した人>

- 分けて細かく書いてあるから
- 表と同様の色分けでいいと思います。

- 文字の量が多いために難しいことが書かれているような印象を受けますが、言葉づかいは平易で分かりやすいと思いました。
- 対象の家庭について太字にするなど目立つと良いのではないかと思う。
- 問い合わせ先の表現で、「在籍する学校」と「学校」が混ざっているのだけ気になった。
- 制度の名称など、小学生には難しい言葉だと思うので「お家の人と読んでね」と書いてあると良いと思う。

<「ややわかりやすい」と回答した人>

- 意味が分からない言葉がある。
- もう少し簡単な表現にすればいいと思う。理由・小学生が読んだらわかりにくいと思ったからです。
- 配られたこどもや、外国人の当事者が読めるよう、ふりがなや『やさしい日本語』を書いたほうがいいと思います。
- 近年は親世代も和暦の使用機会は少なく一度脳内で西暦に変換してから考えるため、西暦表記または併記が望ましい。
- 詳細については所属する学校や市町村に委ねられるため、支援が途切れてしまうのではないだろうか。
- 「多子世帯」というのが全ての年代の子どもなのか大学生世代の子どもが複数いる場合なのか分かりませんでした。でも QR コードが記載されているので省略しても大丈夫かと思います

<「ややわかりづらい」と回答した人>

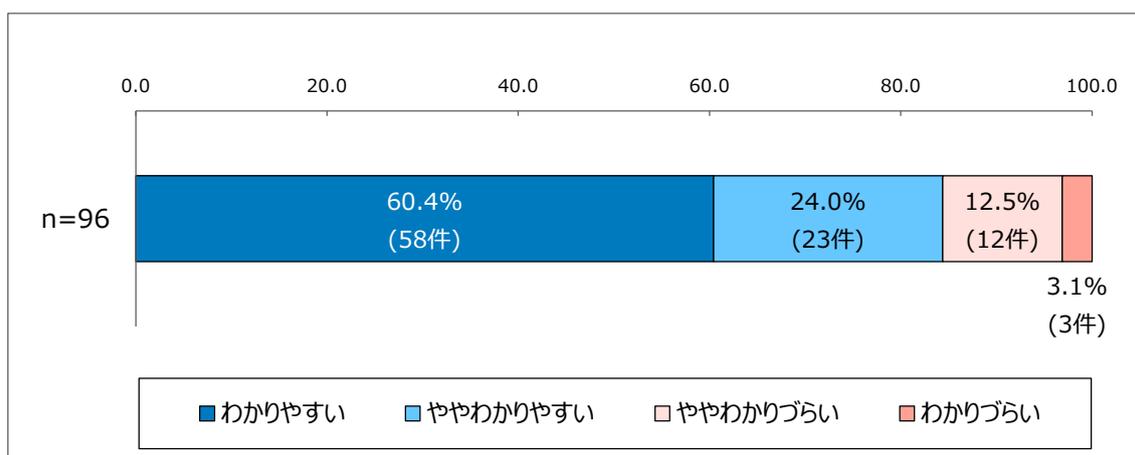
- 大人はわかるが、子供はわからない用語があると思う。
- 表1と同様。単語が少し難しい。
- 金額の表記が少し分かりづらい
- 計算が難しい。対象なのか分かりづらい。
- 「多子世帯」は誤解を生みやすい表現だと思うので、注釈を入れるべきだと思う。
- 言葉の意味が分からないものがあるからです。
- 奨学金等の情報は難しい言葉などが多いので、分かり易すぎるくらい分かりやすく書いたほうが伝わりやすいと思う
- 文字を箇条書きに羅列されている点を、助成毎に図式化して見やすいグラフィックにしてほしい。日本学生支援機構の電話番号を挿入するならば、各自治体にも問い合わせ先を明示するよう統一していただきたい。
- 右で太い矢印を使っているにもかかわらず、左でも丸の中で矢印がでてきて少し戸惑う。どちらかの矢印を消してもいいと思います！

- チラシに対する意見ではありませんが、そもそも各制度の名称が難しくてわかりにくいと思いました。

<「わかりづらい」と回答した人>

- 小中学生には難しいのでは。また、読もうと思わないのでは？
- 年収による区分や世帯状況の説明が直感的に分かりにくいいため、印象を論じる段階ではない。全ての制度に目を通そうと思えないため、まずこの説明とは別に紙面にスペースを設け、年収の低い順番に①、②…と数字を割り振ったりして、年収毎の適用範囲を分かりやすくする工夫が必要。
- こども家庭庁の予算をこどもたちへの直接的な支援に使って欲しい。チラシ屋の利権に横流しするな。

Q6-3. 【チラシ全体】レイアウトはどうか。(単数回答)



Q6-3-SQ. 【チラシ全体】レイアウトについて、もっとこうしたほうが良い、ここは良かったという点があれば理由とともに教えてください。(自由記述・任意回答)

<「わかりやすい」と回答した人>

- 表でこんなものがあると知ることができ、裏でさらに詳しい情報が載っておりわかりやすい。
- 細かく書いてあるから
- 色別に分けられていて見やすい。
- フォント・デザインもすべて見やすい。
- 分かりやすいが興味関心が持てるものではない。
- 矢印や、枠に囲われていること、色分けされていることがいいと思います。

- 全体から受ける印象としては可愛くはないが、色別で分けられていて見やすくはある。読みたい！とはならず、支援への感度の高い人にしか届かなさそう。
- 色分けがはっきりしているため見やすい。高校の部分、「高校の授業料」の各支援項目の幅が飛び出ているのが少し気になった。
- 「制度があって安心だな」とか「利用できて助かった」など、利用してどう感じるかを小学生の時から想像した方が制度が浸透すると思う。

<「ややわかりやすい」と回答した人>

- 大学・高校・小中学校に分かれているのは、親が子の属するジャンルから探しやすいので良いと思う。
- 色がそれぞれで変わっていて区切られていることが分かりやすい。
- 色分けされてる点とイラストがあって見やすい。QR コードも読みこみだけで情報へ辿りやすくわかりやすい。スマホを持ってない家庭事情の人もあるため、検索ワードがあると学校の PC で調べることができるため、そちらもあわせて載せても良いかもしれない。
- 一目で何がお金の対象なのかわかりやすく見やすいチラシだと思いますが、空白が多いと思います。また、対象年齢がわかりやすく色を分けており、素晴らしいものだと思いますが反対にカラフルになってしまいまとまりがない感じにも捉えられてしまうと思います。また、裏面において大学生の余白と小中高の余白の部分に差を感じてしまったため、大学生の内容の幅を広げても良いのではないかと思います。
- 文字が小さい。細い。
- 余白がまだあるので、文字やイラストを大きくした方が見やすいと思います。
- あまりデザイン性はない。良くはないけどすごい悪いわけでもない。
- 少し堅苦しい雰囲気があるため、子どもでも興味が持てるような可愛らしい感じでも良い気がする。
- テーマ説明資料の 11 にもあるように絵などをもっと使い、簡潔にまとめるとより良いチラシになると考えます。
- 裏目について、文字数が増えてしまうのは仕方がないと思うので、タイトルに色を付けて強調できるとわかりやすいと思いました。
- オモテ面 1 番上の「お金がもらえる」という部分はもっと大きくした方がいいと思う。忙しい人でも一目で印象に残してもらえる。ウラ面の大学の説明が他と比べて多いので、もっと枠を大きくとった方が見やすいと思う。
- 対象となる年収や給付額を大きく、目立たせると良いと考える。実感として、対象者に該当していても「自分には関係ない」と思い込んでいる人も多いため。
- 上から下にチラシを見るので、低年齢層向けの支援が上にあっただろうが頭に入りやすいと感じます。

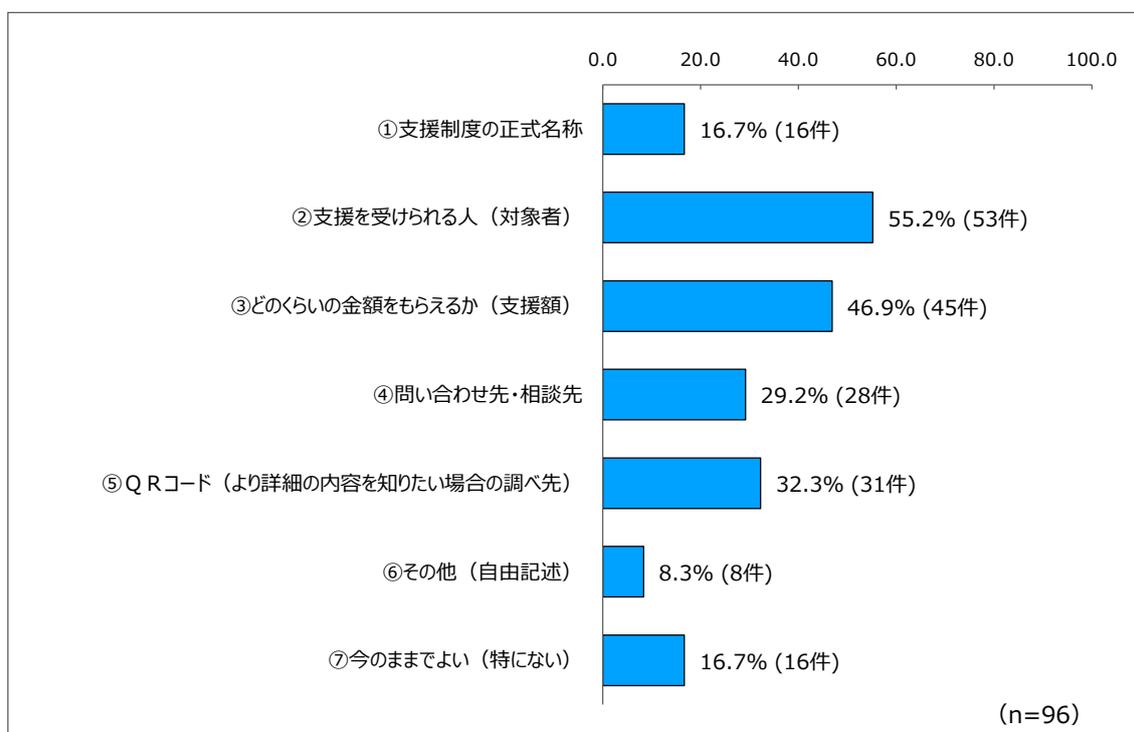
<「ややわかりづらい」と回答した人>

- イラストの量が多い方が見やすい。フォントを大きくした方が分かりやすいかもしれないと感じたから
- 上から下に読んでいくと思うので、最初に小学校で始まり最後に大学等の方が自然に感じた。
- 全体的には分かりやすくて良いですが、誰向けなのかがややわかりづらいと感じます。小中学生向けなのであれば、もう少しその部分の多めに？上に？配置した方が良いかと。保護者向けなのであればタイトルのところをもう少し強く打ち出すべきです。イラストが大きすぎて、イメージに偏り、ふわっとした印象です。
- タイトルをもっと強調する必要があると思う
- 表面は、ぱっと目で文字の印象が強く、読むのを憚ってしまうため、中心に絵や図を用いると良いと思う。
- オモテ、図が大きいので、「お金がもらえます」をもっと主張したほうがいいのかもしい。しかしジャッソなどの返還が必要なものも混ざっているため、書き方が難しいし、知らない人からすると(ジャッソの仕組みが難しすぎるので)初見では分からない。
- 裏面について、箇条書きで記述するのではなく、簡単な表にしてまとめた方が、文字も多く見えず、また整理されるため見やすくなると思う。
- カラーで対象世代が明確な点が良いと思う。表面で図があり、裏面もカラーの文字やQRコード周辺などに子どもや勉強している様子の図があるとより統一感が出ると思う。

<「わかりづらい」と回答した人>

- 必要な情報が欠落、または分かりにくいいためレイアウトについて論じる段階ではない。コンセプトに誤りがあるため、このチラシを作成する際の、最初の企画時点で意見を聴取すべきだった。
- こども家庭庁の予算を子どもたちへの直接的な支援に使って欲しい。チラシ屋の利権に横流しするな。

Q6-4. チラシのオモテ面(1枚目)に載せた方が良いと思うものがあれば教えてください。
(複数回答)



Q6-4-SQ1. (前の設問で「その他」を選んだ方のみ)そのほかに載せたほうが良いと思うものを教えてください。(自由記述・任意回答)

- 小さい子には、ふりがながあった方がいいです。
- お家の人と読んでねと書く。
- 申請から交付までのかかる日数
- いつまでに申請すれば良いのか
- 各制度の申請期限(複数制度がある場合は最も早いもの)
- 多くのが受けれるような支援制度があれば大きく書くと良いかもしれません。
- 可能ならば、詳細な内容の調べ先(行政のホームページ等)のQRコードの他に、実際に申請した人(またはこども家庭庁関係者)がどこの窓口で何をしたかといった手順の記録、その際に何を用意したか、のような例をまとめた QR コード動画形式と、写真を複数撮影したブログ形式の2種類があると望ましい
- もう少し内容が詳述されるべき。

Q6-4-SQ2. Q6-4で「チラシのおモテ面に載せた方が良いと思うもの」を選択した理由を教えてください。(自由記述)

※各意見末尾の括弧内は Q6-4 で選んだ選択肢。

- 自分は対象ではないと思込む人は非常に多いと思う。対象かどうかが一目で分かるのが最重要。(②)
- 対象者に該当するかどうかで裏面を見る or 見ないの選択が変化するから(②)
- 誰が対象になるのか一目でわかる方が自分がもらえるか判断しやすい。一生懸命調べたのに対象外でした、は辛い。(②)
- こういうものは貰える人が限られているし、期待して貰おうとしたのに条件によって貰えないとなると、難しいから。(②)
- 親の経済状況や住んでいる都道府県によって日本人の子供が受けられる支援を差別するべきではない。一律で国で支援するべき。不法滞在の移民は支援しなくてよい。(②)
- どんな人が受けられるのかがいると思ったから(②)
- 対象の人を書くほうがわかりやすい(②)
- 自分が対象になるのかどんな人が対象者なのか知りたいから(②)
- 支援額が思ったよりも多いと感じてくれたら、魅力に思い裏面をしっかりと確認すると思うから。(③)
- 金額があると、だいたいどれぐらいの支援がもらえ、いくら自分たちがひつようか大まかにわかるため(③)
- 上部にお金がもらえますと書いてあり、どれぐらいか情報があると、より詳しく知りたいと思えるため。(③)
- 具体的な金額を記載した方がこの制度の価値をわかってくれると思ったから。(③)
- どこに連絡すればいいのかが 1 番気になるため。(③)
- 相談先がないと、みんな学校や役場に相談して、業務以外の仕事が増えそうだから。(④)
- 文字は読まない人が多いから(⑤)
- さっと写真を撮っておいて、後で QR コードから確認できる方が、チラシの前に長時間立っているのを見られずに済む(⑤)
- QR コードが目につくと、一応読み取っておこうという気持ちになりやすいから。(⑤)
- QR コードがあれば読み取るだけで詳しい情報を見れるページに移動できるから(⑤)
- パッとチラシを見た時に、とりあえず QR コードだけでも読み取っとうと思えるから(⑤)
- 正式名称よりも内容を書くことのほうが、全員に対するアプローチとしては有効であるように感じる。(⑥)

- 申請が間に合わないケースが課題としてあるのであれば、見た人が「早くやらないと」
と感じるような表現をすることが必要ではないか。(⑥)
- 難しい漢字は読めないからです。(⑥)
- お家の人と読んでねと書いてあると親子で読むきっかけになると思うから。(⑥)
- 裏面にあるから(⑦)
- 文字数が多くなると読みづらいと思うから。(⑦)
- 十分な情報が既に載っているから。(⑦)
- なるべくかんたんにした方が良いと思うから。(⑦)
- 選択していません。(⑦)
- 情報量は十分だと思うから。(⑦)
- オモテ面なので情報量が多いと目をひかないと思うため、今のままで良いと思う。(⑦)
- 表面はとにかく端的にわかりやすく、概要を示すものが良いと思うので、詳しい内容は
裏面、という今のままでいいと思います。(⑦)
- 今が一番見やすいと思うから。これ以上情報を増やすと分かりにくく、見づらくなる
と思う。(⑦)
- 裏面に詳細を記載するというのであれば、表面はこの程度でいいのではないか。
(⑦)
- これ以上は情報量が多くなりすぎると思ったため。(⑦)
- これ以上情報を増やすと、文字の量も増えてチラシを手に取りづらくなるだろうと思う
ため。(⑦)
- 特になし(⑦) ※4件
- このチラシを持って、役所等に問い合わせに行く可能性があるため、正式な名称がある
と意思疎通が取りやすいと考える。(①④)
- 正式名称がないと、スマホ等で調べる時に不便だと思います。また、自治体のサイトだ
と言い回しが難しく理解できないことが多いので、対面等で相談する窓口は絶対に
記載するべきだと思います。(①④)
- どのような人が受けられるかわかんないと受けようと思わないし金額が書いてなけれ
ば嘘かもと思うから(②③)
- 対象かどうか知りたいから。(②③)
- 自分が対象者になるのか、ややこしいと聞いたことがある(②③)
- 対象者を記載した方が必要としている人に興味をもってもらえる可能性が高まると思
う。また、具体的な金額を記載することで目に留まると思うから。(②③)
- 支援金の存在を知った時にまず知りたいのは、自分は対象者なのか、だと思います。世
帯の収入や学校の区分によって変わるので自分がそもそももらえるのか知りたいで
す。また、支援額も同様、自身の状況によって変わってくる物なので知りたいです。(②
③)

- 奨学金を受けられるか考える時に、対象かどうかを最も知りたいから。(②③)
- 実感として、対象者に該当していても「自分には関係ない」と思い込んでいる人も多いため。(②③)
- 自分が対象になるのか、またどれくらいの金額がもらえるのかが 1 番重要視しそうだから(②③)
- 今のままだと QR コードからページに飛んで詳細を見るという行動を起こさない人が多そう。(②③)
- 自分が支援の対象かすぐには分からないので、分かりやすく書いておいてほしい。金額もおよその数字を書いていると分かりやすいと思う(②③)
- 前に回答したものと重複するかもしれませんが、何にどれくらい使えるお金がもらえるかは必要だと思います。また、小学校中学校高校で制度や必要なものも変わるため、それに合わせて表面の言葉遣いも変える必要があると思います。(②③)
- オルタナティブスクールに通う人など、自分が対象内なのかが分からない(②④)
- 対象に該当し悩んでる人に目に入りやすい情報だと考えたため(②④)
- 対象者→子どもが自分の状況などを理解できていないと、この情報はスルーされてしまう。少しでも身近に感じてもらうために必要だと考える。(②④)
- 誰が見てもわかるような内容を増やしたらいいと思ったからです(②⑤)
- 給付金支援を受けたいと思った人が、その情報源の確かなサイトに早く飛べるように(②⑤)
- パッと見てすぐ調べられるようにする為(②⑤)
- 対象者がチラシを見てすぐに分かるようになれば見落とされることも減ると思う。オモテ面をみて興味を持ってもらってもウラ面を見て自分が対象者じゃなかったら悲しいと思う。わざわざウラ面をみるのが面倒な人に向けて QR コードはすぐ読み取れるところにあったほうが良いかと思う。(②⑤)
- 「自分も受けれる！」というように、自覚してもらえやすいかもしれないと思ったため(②⑥)
- 支援額が分からないと家計がどれほど助かるのかをイメージできないから。(③④)
- やっぱり金額が 1 番目に着くと思ったから(③⑤)
- 一番知りたいことだと思うから。(③⑤)
- 例えばこのチラシを掲示するとして、スペースの都合上表面だけが見える状態でも最低限の情報を得られるようにしたほうが良いと思う。QR コードがあれば裏面がなくても読み取って詳細を確認することができる。(③⑤)
- 今のままだとわかりにくいから(③⑤)
- 金額は興味を引く材料となるから(③⑤)
- 申請してもらえないまでに何日かかるかという情報があれば申請者も安心できるし、より身近なものに感じることもできるかもしれない(③⑥)

- 大体の内容が表だけでわかったほうが良いと思うから。(④⑤)
- チラシでは見やすくする関係で、文字数が少ないため詳細を記載することは難しいため。QRコードがあれば知りたい人が読み込み、アクセスが可能であるから。(④⑤)
- 詳細に飛んでもらう必要がある内容であるから。(④⑤)
- 細かい方がわかりやすい(①②③)
- 正式名称が分からないと怪しいものと思えないから。(①②③)
- チラシを見て支援について調べたいと思った時に、正式名称の方が正しく検索できるから。また、対象者と支援額を示しておかないと「チラシのもらえるってあった」と対象外の人からの電話が来る可能性が高くなるから。(①②③)
- どんな人がどれくらい受け取れるのかをわかりやすくした方が良いと思ったから。(①②③)
- 支援制度の正式名称→いざ自分が申請したり詳しく調べたらしようとしたときに、支援制度の正式名称でない場合、申請窓口の担当者に「そんな制度はない」と言われかねないし、検索にもヒットしづらくなると考えるため(①②④)
- QRコードがないとこの情報を必要とする人が正しい情報にたどり着けない可能性があるため。(①②⑤)
- 自分が何をどのくらい受けれるかわからないと思うので相談窓口などがあるといいなと思う。高校生の時支援金を出したが受けられなかったので申し込む前にももらえるか教えてほしい(②③④)
- 金額がいくらか、そもそも貰えるか分からん事にはどうにもならん(②③④)
- 誰がもらえるものなのか、知りたい人はいると思うから。(②③④)
- どんな条件で利用が出来るかなどわかりやすいので。(②③④)
- どのくらいの金額をもらえるかにより相談先や問い合わせ先が書いていないと不安になり人も多いと思うから(②③④)
- 情報を提供するといった面であった方が良いと感じた(②③④)
- チラシの表を見ただけで、自分が対象かどうかを知れたほうが良いと思うから(②③⑤)
- 世帯所得等で受け取れる金額が違うから。チラシに載せきれなかった情報をQRコードを読み込むことで更に分かれるようになるから(②③⑤)
- 分かりやすいから(①②③④)
- 日本学生支援機構の給付奨学金と授業料減免について明記した方がよい。(①②③⑤)
- パッと見たときに目に入るように。チラシだけでは対象なのか分かりづらいこともあると思うので、すぐQRコードで見れると良いと思う。(①②④⑤)
- 正式名称が分からないと、似た名前の別の制度と混同してしまったり、問い合わせた先の役所の人知らなかったためにサービスを受けられない可能性があったりするため。正式名称が分かれば誰でも同じ情報にたどり着けるので、絶対に要る。(①②④⑤)

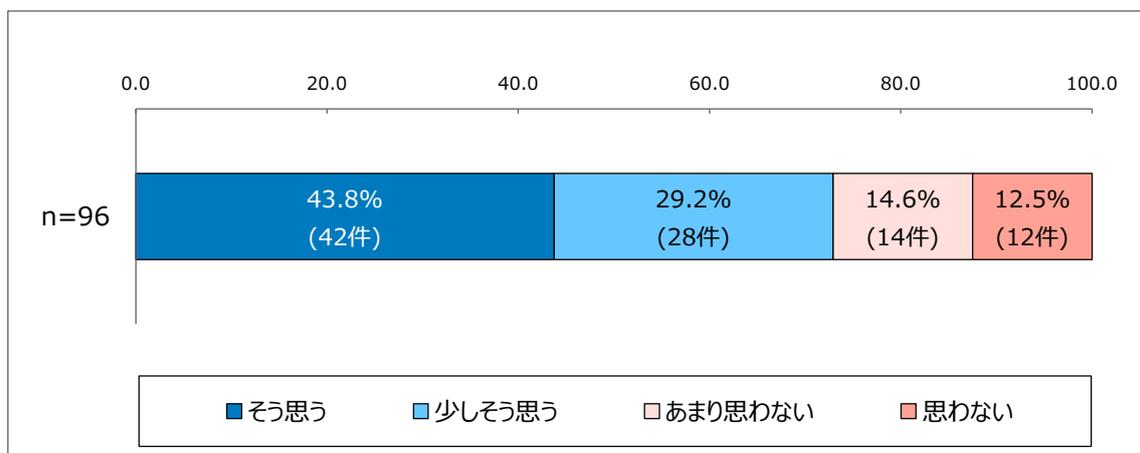
- 申請にも時間や手間がかかる。最初にもらえる額が妥当かどうか判断できなかったり、対象や要件がわかりづらかったりすると支援を受けることができるはずの人が受けられなくなる可能性がある(②③④⑤)
- 奨学金を応募する前または手続き中に条件が外れていることを知ってしまうと、ほとんどの人は失望するから。(②③④⑤)
- 対象者や支援額などは生徒やその保護者にとっては必要不可欠なものだかは(②③④⑤)
- 気になった時にすぐに検索し、支援につなげられるようにしたほうがいいと思うから。(①②③④⑤)
- 支援対象の家族構成や支援金のことなど一目で分かると思う。(①②③④⑤)
- 枝分かれせずに、提示された一枚で理解し、完結することが大切。利用者の手間を省略できるから。(①②③④⑤)
- チラシそのものの第一印象として、見る見ないを判断するために必要な情報なのに、オモテ面では言及されていないため。法律で規制される類の悪質な広告とやっていることが一緒。(②③④⑤⑥)
- 裏面を見ない人がいるかもしれないためまた学校の掲示板では表面を掲示していることが多いため(①②③④⑤⑥)

Q6-5. チラシの案に載っていない情報で、知りたいと思うものがあれば教えてください。(自由記述・任意回答)

- 申請期間など
- 対象に外れてしまった者の支援制度
- 支援対象外であっても、医療費や介護、収入など、どのような変化があれば対象になるのか。
- 支援金の受給方法
- よくある Q&A など
- チラシの裏面、リンク先として QR コードだけではなく URL そのものも載せたほうが良いと思う。
- 授業料や教材費など平均どのくらいお金がかかるのか知りたい
- 自分ちの学校生活に必要なお金はどのくらいかかっているのか知ってみたいです。
- 実際に教育にかかるお金子どものうちは自分の教育にどれくらいのお金がかかっているのか把握できていないことがほとんどだと思う。ただ支援策だけを伝えるのではなく、これだけかかるんだよ、支援もいろいろあるから使ってね、のほうが自分事として捉えやすい。
- 私が大学にはいる前に知りたかったお金に関する情報は、いくらもらえるか、いくら減額されるかではなく、1.いくらで大学にいけるのか、2.入学前にいくら必要なのかでした。それがわからないと、周囲の人に反対されるからです。大学入学後も後期になって請求書が来てはじめて、後期の分の支払う必要のある学費の額を知ったりすることがあり、いくら貯める必要があるのかもわかりませんでした。また、成績や、出席率のため減額されることがあることも、チラシにいれた方がいいと思います。大事なことなのに、長い文章の一部に載っているだけだと、見逃してしまうからです。
- 公立学校における全国平均等から算出した、支援金により、何の費用がどのくらい安くなるかという情報。これは、QR コードのアクセス先に掲載しても構いません。
- 私立と公立の学校で違いがあるのかないかわからないので、表面か裏面に入れて欲しい。助成を利用したことがある人の声や実例(助成により授業料が負担された額)を入れるとより身近に感じやすい。
- 一部の私立高校では学業が優秀な生徒に対して入学金や施設利用料を減免・免除する制度がある事も前以て知っていたら進路の選択肢が広がって、希望を持ててよいと思う。
- 載っていない情報ではないのですが、奨学金は返さないといけないというイメージがとても強いので、給付金の奨学金のところは、給付金を強調するような装飾をしたほうが良いかもしれません。
- どんな人がどのくらい借りているか、奨学金の借りている生徒の割合返すときの流れ何年かけてどのくらいずつ返しているのか借りた人の感想

- 問い合わせ先の電話番号、メールアドレスなどもチラシに載っていると連絡しやすいのだと思いました。また、QR コード先に飛んでも、制度そのものが複雑なため、子どもも保護者も理解することが難しいと思いました。
- 虐待を受けている、親が進学に協力的でない場合の支援、相談先
- 支援を受ける事に対して親子で意見が対立してしまった時に、親が私立はお金が掛かるから駄目と言ったからと希望する進路を諦めてしまう子どもがいると思う。「家庭の事情がそれぞれにあるが、子どもには支援を受ける権利がある」と明記して相談窓口につながるようにした方が子どもが希望する進路が叶うと思う。
- QR コードでアクセスする先は性格診断サイトのように簡単な選択肢をいくつか入力すると自身の利用できる可能性のある制度を紹介するサイトとし、一本化させた方が良いのではないか。また、診断系のサイトとすれば SNS 活用にも転用が可能となる。QR コードを読み込ませて詳細情報にアクセスさせる方法はある程度詳細な制度について個々に読み込み理解する必要があり、例えば支援が必要である片親世帯などでは多忙でチラシを見ても、または QR コード先にアクセスしても長文のサイトでは読み込む気力がない、敬遠されるといったことが考えられる。
- 自治体独自の支援や、民間企業、財団が実施している支援がまとまっているサイトがあれば、そのサイトに飛べる QR コード。そのようなサイトがなければ、国で作ってほしい。現状、知らずに支援を受けられていない学生が多くいるため。情報が一元化されれば、その人の状況に応じて適切な制度を選択できると思う。
- 国以外の支援もあると書いてあった方が支援の一覧表として完成されると思うから。
- 年少扶養控除をなぜ復活させないのか。国民負担率が 50%もあるのに学費や給食費、教材費などを国で一律無料にできないのはなぜなのか。チラシを作成するのにどれだけ税金が使われて中抜きされているのか。

Q6-6. このチラシを見て、教育を受けるのに必要なお金に対する支援があることを家族に伝えようと思いますか。(単数回答)



Q6-6-SQ. その理由を教えてください。(自由記述・任意回答)

<「そう思う」と回答した人>

- 私はもう対象ではないが、今後こういうものもあると親族に家族が伝えるかもしれないため。
- 親などにも知って欲しいから
- 支援があることで家族への負担を減らすことができるから。
- 来年から高校生で、家族と進路の話をする時にこの一覧表があると支援がある事を親に伝えられて、冷静に話せると思う。
- 今と昔とでは考え方も制度も違うため、両親が知らないことも多そうだから。
- 使えるものがあるか分からないから、見てもらいたい。
- 家族は年収要件的に無理だといつも言うから、そうでないものがあつたら伝えたい。
- 支援を受けれるなら受けたいので親も支援について知っていなければいけないと思ったから
- 必要な情報がまんべんなく記載されているため。
- とても分かりやすい

<「少しそう思う」と回答した人>

- 「もらえる」ということは大きなメリットだと思うから。
- お金の話を切り出すのは難しいけれど、家族の目に留まる場所にチラシを貼ることはできるかなと思いました。
- 私は高校生ですが、自身の家族の世帯収入がどれくらいなのか聞いたことがありません。両親に私たちの世帯収入はどのくらいなのか、聞きづらいです。
- 親の年収を知らない、聞けない子が多い中で対象に入っているかわからない申請書類を自分から学生課などからもらいに行くには少しハードルが高いと思ってしまうため
- 学生が知ってから親に伝えるには、どのように支援されるのか不明瞭で、正式名称では内容がわかりにくいので、QR で調べる前に止まってしまいそう。実際に助成されてこんなことができましたという前例があるとより身近に感じると思う。
- もともと知っていたもの以外の支援も受けられると分かったから。
- 親が大体知っていると思ったからです
- 収入的に奨学金が貰えないから。
- 中学生・高校生は説明できると思うが、小学生には難しいチラシになっていると思うため。また、世帯収入はあるが教育虐待などを受けており、親との関係性が悪い人などは、親を介さずに支援につなげられる仕組みもあればいいと思います。

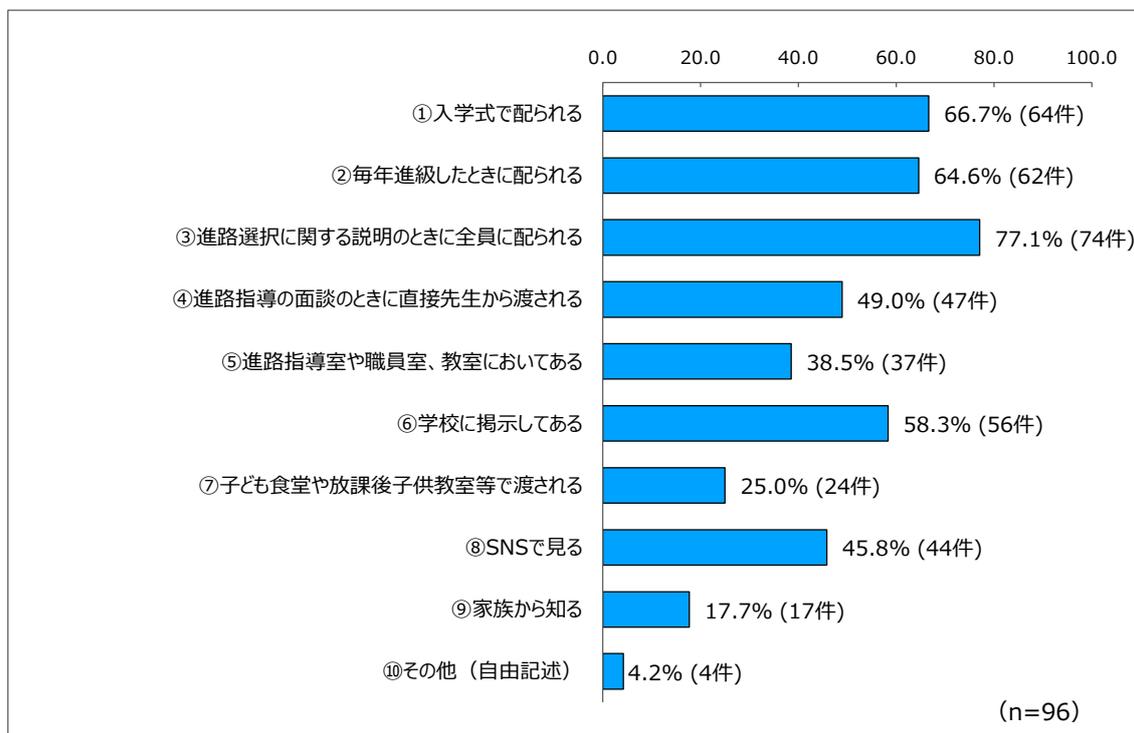
<「あまり思わない」と回答した人>

- 学生は家庭の収入について把握していない場合が多く、家族に相談するべきかどうか判断できず、親も家庭の資金繰り等を子供に心配させまいと見せるため、楽観視してしまうことがあるのではないかと。
- 支援に頼るのは自分が頑張ってもそれでも難しい時だと思うので、家族にはその事態に陥った時に伝えるでいいと思うから。
- 家庭の事情にもよると思うが、受けられる人と受けられない人がわかりにくいから。受けられないかもしれないのに、申請しても意味がないと感じるから。
- 今現在私の家庭には必要ではない情報であるから。
- 自分がその対象者ではない可能性が高そうだから。
- 身近に対象者に当てはまる者がいないため
- 学校などで配られても親が取り合うか分からない
- インパクトに欠ける。印象に残らないのでなにかの反動で忘れてしまいそう

<「思わない」と回答した人>

- もう知っているから
- これだけだと情報が少ない気がした
- 虐待を受けていたから。
- 自分で学費や生活費など全てを払わないといけないため、言う必要がない
- 対象から外れているから。また、貸与型の奨学金を貰う気がないから。
- 年収の制限があって対象にならず、意味がないから
- わたしの世帯年収だと受けられる支援がひとつもないから。これまで国が行ってきた支援策をみてきて、支援があるといくら言われたところで「どうせ所得制限かけて自分は対象外なんだ」と思うように学習してしまった。今回だって所得制限が原因で受けられる支援はひとつもない。家族に教えたとして落胆するだけだ。
- 自分がオルタナティブスクールに通っていて、自分が対象内なのかが分からないから。
- 必要な人が理解できる内容になっていないため。このチラシ単体が渡されたところで、「結局何が使えるの？やっぱり行政の言う事って分かりにくいよね」となってしまいます。チラシの出来の悪さにこども家庭庁へのネガティブキャンペーンにしかならないと考えます。

Q7. このような支援が受けられることを、どのような機会に知りたいですか。(複数回答)



Q7-SQ. その理由を教えてください。(自由記述)

※各意見末尾の括弧内は Q7で選んだ選択肢。

- 入学の時だとすぐ分かるから(①)
- 毎年言われたほうが覚えていられる(②)
- 毎年分かった方がいいと思ったから(②)
- その時なら、関心をもってみる事が出来るので。(③)
- 進路選択の時がお金のことを一番考える気がするから。(③)
- 進路は自分に関係している事だし、お金に関しても気にしてる人は少なくないと思うから、意識的に注目すると思う(③)
- 配られるだけでなく理解した人から説明を受けたい進路選択のときが一番支援情報を知りたいから(③)
- 自分が行きたい進路を諦めなくてもいいと思えるから(④)
- インターナショナルスクールという特殊な中学校に通っていたため、日本の学校で配られる書類が届かず、目にする機会が一切なかったからです。SNS で情報を目にする事が一番多く、それをみて調べることも多いからです。(⑧)
- チラシは不要。親の経済状況や住んでいる都道府県によって日本人の子供が受けられる支援を差別するべきではない。一律で国で支援するべき。(⑩)
- 入学式などは大事な書類がいくつももらうため、必ず目を通すため(①②)

- チラシが掲示されていても、いろいろなものが掲示されているのでいちいち見ない。政府関係者の方など、学生の時に校内の刑事罰やチラシをいちいち全てチェックしていたかどうか覚えているだろうか。(①③)
- 自分のペースでそのチラシを読めるのはありがたい(①③)
- 入学式では、いつもよりも保護者は手紙を確認する気がする。掲示があると、授業参観などで保護者の目に留まりやすいと感じた。(①⑥)
- 定期的に周知することも重要だが、いよいよ自分の進路について考えることとなる進路指導の際に教職員から直接手渡されることで、効果的な周知となるのではないか。(②④)
- 何回もかくにんできたら、申請し忘れも少なくなると思うから。(②⑧)
- 進路については進級するたびに重要性が上がるため、複数回のアナウンスがあることが望ましい。また、入学式やポスター掲示では古い情報のままになってしまう恐れがある。(②⑨)
- 進路相談で渡された方が、保護者もいて、直接保護者に渡されるから。(③④)
- 進路を選択するうえで金銭的支援の情報は必須だと思うから。(③⑥)
- 支援制度を知ることは、子ども自身の金銭感覚を養うことや進路を選択することにも影響していると思う。ただ配られるだけでは響きにくいし、卒入学や進級のタイミングは多くの案内が配られて埋もれてしまう。家庭科や社会の授業できちんと時間を取り、社会の制度として教えていくことも必要だと思う。(親の給料や自治体によって受けられる制度が異なることやその背景、申請にあたって求められる書類(住民票や就学証明書)の入手方法など)(③⑩)
- 早く知りたいから。(①②③)
- 全ての人々が平等に情報を受け取れるため(①②③)
- 学校の方が受け取りやすい環境にあるから(①②③)
- 一人で申請書類を取りに行くハードルはとて高く、掲示だと全く気づかない子が生まれるため(①②③)
- 全員が確実にかつ平等に制度の存在を知れる必要があると思うし、一年で家計が変わり、制度が利用できるようになる人は多いと思うので、一年に一度は配られると嬉しい。また、進路を決める時にお金の問題は必ず絡むので、そのタイミングで保護者と進路について話し合う材料になると思う。(①②③)
- 毎年配られることによって忘れていたとしても確認になる。担任から直接渡される方が支援が存在していることが認知しやすい(①②④)
- 資料を渡される方がしやすい(①②⑥)
- その時の時期に合っている時にもらいたいから。(①③④)
- 誰にでも広く、目に付く場所に公開されるべき。(①③⑥)
- 学校の掲示物は見ない人が多いから。(①③⑧)

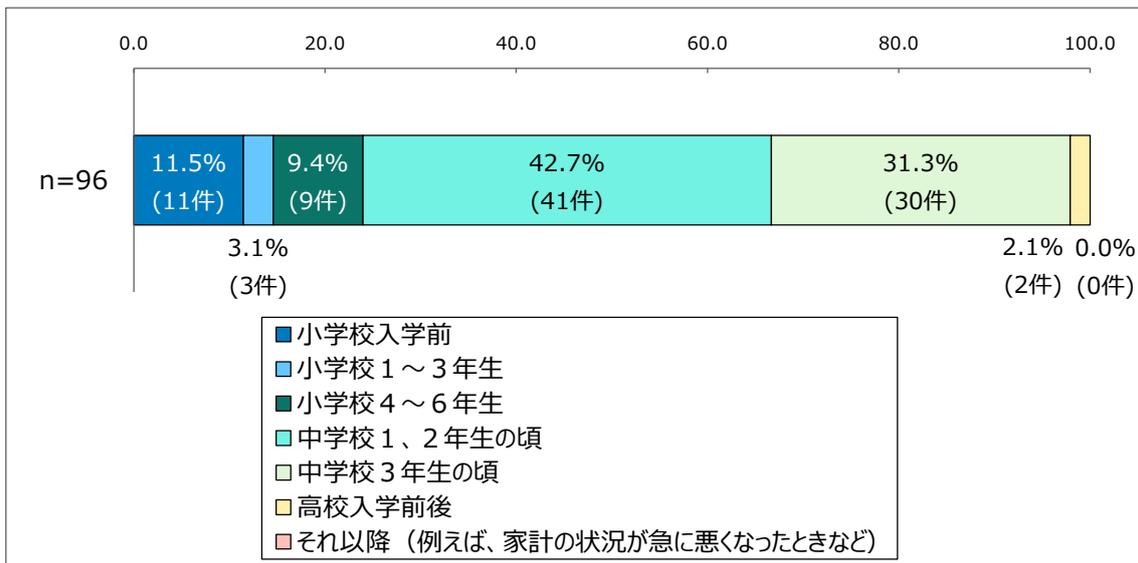
- 自分から知ろうとしなくても知れる機会がいい。(①③⑧)
- 制度を知らない人にも知ってもらえるように寄り目のつく場所や絶対に行く場所にあるといいと思ったから(①⑤⑥)
- 全員が定期的を知る機会があったほうが良いと思うから。(②⑥⑧)
- 進路を考えるタイミングで貰えると将来の選択肢の幅が広がるから。また学校は多くの学生にとって一番長く過ごす居場所であるから。(③④⑥)
- できるだけ早めに知りたいから。(③④⑧)
- 置いてあるものを生徒が見て生徒が持ち帰り生徒が親に見せる説明する、掲示を生徒が見つけて生徒が親に教える、これでは支援が漏れる可能性がより高くなると考える。支援を積極的に PR することが大事だと考える。積極的に情報を届けることができるはずなのに、支援を受けることができる人を支援からもらすのは良くないと考える。支援があるのにわざと隠すようなことはもちろん絶対にあってはならないと思う。(①②③④)
- 必ず配られるものに入るべきだと思います。また、入学式の時は書類が多いため接する機会を増やす必要があると思います。(①②③④)
- 全員に一律にその都度知る機会があった方が、受けたいと思ったときに悪目立ちしなそうだから。(①②③⑥)
- 常々に知っておきたいから(①②③⑥)
- 配る機会が多い方が支援があることに気づきやすいと思うから(①②④⑧)
- 全て、手続きは保護者がするにあたり、学校と保護者の連携がきちんととれていないと、必死になって働いている親の負担を少しでも減らす為に、きちんと連携をしてもらいたい。(①②④⑨)
- 毎年や頻りに配布されたほうが見逃しにくい(①②⑥⑧)
- 小学一年生がお金のことを考えて、家族に伝えようとするのを望むのは難しいと思うので、まず家族に知って貰うことが重要だと思う。(①②⑦⑨)
- 何かしらの区切りのタイミングで知りたいと思う(①③④⑥)
- 進路を決める時、お金で諦める人を減らす為(①③⑥⑧)
- 進級などは、ものごとの新しいタイミングで今後について考える機会だと思うから。(②③⑤⑥)
- 状況は随時変わるからポイントごとだけではなくもっと配って欲しい実際自分も入学時に配られたチラシを見落として支援を受けられなかった例があるため(②③⑥⑧)
- 配るとき説明してもらえそうだから。貼ってあると、気になったら調べられるから。(③④⑤⑥)
- 意識しなくとも知れる機会だと思うから(③④⑥⑨)
- 情報を知る上で手段が何通りも無いとその情報でさえ広まらないから(③⑤⑥⑧)
- 進路に関わる情報だから。(③⑤⑥⑨)

- 見る回数が多いほうがいい(①②③④⑥)
- 学生が関わりやすい場所にあると関心を持つと思ったからです(①②③④⑥)
- 全員に確実に渡した方が良さから。(①②③④⑧)
- 不登校や引きこもりの人達に届ける工夫をしなければならないと思う(①②③④⑩)
- 見る機会がたくさんある方が良さ。(①②③⑤⑥)
- 個別で渡されると何となく恥ずかしさを感じるから(①②③⑤⑥)
- 色々な機会で見え、特定ではなく子ども全体向けに分け隔てなく発信する方が良さ(①②③⑥⑧)
- なるべく子ども・親両方の目に多く入った方が良さと思います。申請は子どもだけではできないので、親に自分の世帯が対象であることに気が付いてもらえるかが重要だと思います。家庭の急変等もあるので、毎年配布されたいいなと。(①②③⑧⑨)
- 現代社会において、情報はあふれていて自分からとるものではあるが様々な場所に掲示してあるほうがありがたいから。(①②④⑥⑧)
- 自分にかかるお金を自らが学ぶことが必要だからです。(①②⑤⑥⑧)
- 様々な機会アナウンスされることで、より多くの方が情報をキャッチできるため。全体でアナウンスする一方で、自分ごとだと捉えやすいよう、支援が必要な状況の子どもには個別で案内してほしい。(①③④⑥⑦)
- 進学前に知ることによって進学の幅が広がるため。SNS は若者が娯楽時間にも使用される人気のツールであり、見てくれる人が増えると思うから。(①③④⑥⑧)
- 身近なところにあつたら知りやすいから(①⑤⑥⑧⑨)
- 定期的に、直接、この情報を確実に全員に届ける必要があると思うから(②③④⑦⑧)
- 掲示してあつたり、セルフでとつたりする形だと、みんなの視線が気になつてとれない子がいるかもしれないので、全体に配る形のほうが良さと思います。また知れる機会を定期的に設けることで、サポートが必要な時に利用しやすくなると思つました。(②③⑦⑧⑨)
- 進学について考えるときに支援のことを知りたいから、面談や進路選択のタイミングが良さと思うから。(③④⑤⑥⑦)
- 学校の掲示板、先生など学校内の多くのところで目にしたり耳にしたりすることで、記憶に残りやすそうだと考えるため。(③④⑤⑥⑦)
- まず、自分でこの情報を手に入れられるようにしてほしいです。また、この情報が必要になつてくるのは進路を考える時なので、その時にほしいです。(③④⑤⑥⑧)
- 奨学金などきいたことはあるが入試のときにしか聞いたことがないので頻繁にお知らせをするべき。(①②③④⑤⑥)
- 学校内で何度も目にして考える機会があればよさと思つたため(①②③④⑤⑥)

- 情報が行き渡らなかった、ということだけは避けるべきだと思いました。また、不登校や入院などで学校に通えてない人にも伝わるように、SNS 等での発信も必要に感じました。(①②③④⑤⑧)
- 学校でかかるお金の話であるからこそ、もっと学校から積極的に支援の手を差し伸べてほしい(紹介してほしい)から。(①②③④⑥⑧)
- どこかに置いてあったり、掲示してあったりするだけでは見ない人が多い。ひとりひとりに直接渡したり、説明したりするほうがよいと思うから。(①②③④⑦⑧)
- 簡単だから(①②③⑤⑥⑧)
- 見れる機会は多いほうがいいから(②③④⑤⑥⑨)
- 進路選択のときに渡されると、進学を諦める人が減るかもしれないから。(①②③④⑤⑥⑦)
- 機会は多いほどいいから(①②③④⑤⑥⑧)
- 『家族』は知らないからこそ支援を受けられていないと思うので、本人が知ることができ場所に置いておいてほしいと思うため。(①②③⑤⑥⑦⑧)
- 学校からのアナウンスだと信用できるし、SNS なら目に触れる機会も多い。子ども食堂などで大人が教えてくれるとラッキーだとも思う。(①②③⑤⑥⑦⑧)
- 特定の個人に対して渡されるより、対象でない人にも同じように渡させば、対象である人も受け取りやすいと思う。(①②③⑤⑥⑦⑧)
- 1 番長い時間を過ごす学校で目に触れた方が知しやすい(①②③⑤⑥⑦⑧)
- 知る機会が多いほうが良いと考えたため。また自分で積極的に調べる以外にも、受け取る機会があったほうが良いと思ったため。(②③④⑤⑥⑦⑧)
- ネグレクトやら奨学金を着服して私用に充てるタイプの毒親がいた場合に備えてある程度の年齢なら本人に直接伝わるラインも作った方が良いひとり親とかだと疲弊して配布物の確認出来ないとかもありうる(本当なら拒否しない限り受けられる返還不要の支援は自動で降りる位が良いと思うし、子供が重病や死亡等で就学出来ない家庭に空振りするのは気の毒だけどそれ以外なら空振っても足りないよりマシだと思う)(①②③④⑤⑥⑦⑧)
- 何重にも手に入れる手段があるべきだと考えるから(①②③④⑤⑥⑦⑧)
- 普段から身近なところにあると分かりやすい。(①②③④⑤⑥⑦⑧)
- 外国出身の両親を持つ私みたいな人が、学校等から知らされない日本の教育についてもっと無知になるから(①②③④⑤⑥⑦⑧)
- 生活圏内に情報がある方が良いため 自分だけでなく多くの人が支援について認識できたほうが良いため(①②③④⑤⑥⑧⑨)
- タイミングは多いことに越したことはないと思うもっと知れるタイミングが欲しい(①②③④⑤⑥⑧⑨)
- 進級したタイミングは少し多いかなと感じたため選ばなかった。(①③④⑤⑥⑦⑧⑨)

- ・より多くの場所で情報に触れた方が良いと思うから。・全員が情報にアクセスできる必要があるから。・困っている家庭には信頼できる人から・また個別的に情報が提供される必要があるから。(②③④⑤⑥⑦⑧⑨)
- ありとあらゆる手段で広告するべきです。無関係な人から「邪魔、金の無駄、無意味」と言われようと徹底的に広告し続ける覚悟とその予算が必要です。数年後に、その広告が当たり前のよう流れて、受け入れられている状況を目指すべきです。嘲笑われたり、批判を跳ねのけながら、本気さや必死さを見せつけることで、ようやく世間にこども家庭庁の必要性が認識されます。(①②③④⑤⑥⑦⑧⑨)
- 色んなところで知るきっかけが増えると良い。(①②③④⑤⑥⑦⑧⑨)
- あえて、全て希望します。アンテナを張り巡らせることは、情報発信・受信することに直結するからです。(①②③④⑤⑥⑦⑧⑨)
- 子どももどこかで親に負担をかけたくないと思っている。後後悔しないためにも、親も子どもどちらも知れる機会を多く持つべきだと思う。(①②③④⑤⑥⑦⑧⑨)
- コンビニの店内放送やファミレスのテーブルにある広告などいつでも身近な場所で知る機会があったら良いと思う。(①②③④⑤⑥⑦⑧⑩)

Q8. 【高校段階の支援について】高校の授業料や、制服代・教材費などへの支援について、どのくらいの時期に支援があることを知っておきたい(もしくは知っておきたかった)と思いますか。または、自分の保護者の人に知っておいてほしいと思いますか。(単数回答)



Q8-SQ. その理由を教えてください。(自由記述)

<「小学校入学前」と回答した人>

- なるべく早く知るべき。

- 早い方がよいから
- 支援がある事が早めにわかっている方が安心出来るから
- 早いうちに知っておけば勉強しよう、という気になれるから。
- 小学校入学前から支援があることを知っていれば、長期的な計画が立てられるため。
- 保護者は事前に小さい頃から対策を考えないと、お金はすぐに用意できないのでできるだけ早めのほうがいい
- 入学のために備えをしていると思うし、あらかじめ早い段階から知っておくことで心持ちも変わってくるとおもう
- 学資保険に入る時に支援を知らなかったら合わない保険に入ってしまうかもしれないから。
- Q7 と同文(外国出身の両親を持つ私みたいな人が、学校等から知らされると日本の教育についてもっと無知になるから)
- 子を産む前から必要。子供1人を育てるのに2000万必要と言われる状況を変え、出生数が減っている現状でこども家庭庁の予算を出生数で割ると新生児1人に634万円配れるので、子供への直接的な経済支援をし、親の経済的負担感からの産み控えを減らすべき。子ども手当のように一度作った制度は改悪しないこと。
- 小学生等の期間を限定せず、出生直後から高い頻度で定期的に周知が必要だと考えます。親は日常の何でもない日に近い将来や遠い将来のことを話し合うため、平日頃の周知がこの時に活かされます。

<「小学校1～3年生」と回答した人>

- 早い段階で知っていて欲しい。進路を決定づけるものなので。
- 中学受験の決定に関係するから。
- お金のことは小さいうちから知っておくべきだから。

<「小学校4～6年生」と回答した人>

- 早くから知っている不安にならないから。
- 中学進学前に知っておくべきだから。
- いつでも。高校進学は小学高学年では考えると思うから。
- 理解できるようになり、高校に興味を持ち始める時期だから。
- 迷いましたが、なかには中高一貫校の進学を考えているご家庭もあると思います。考慮すると、小5、6ぐらいからの意識は大切かなと思います。そのぐらいの学年から、自身の将来の夢や進路を強く固めて、合わせて進むべき道を認識するのかなと思いました。

- 中学生の頃や高校入学前後では、すでに金銭的理由が高校志願先に影響を与えていたり、すでに高校志願先を変更した後である可能性が高いと考えるため。早い方が良いと考える。
- 高校行けるかどうかは中学の勉強のモチベに関わるので遅くとも中学入学時には必要
独身だから分らんが小学校については、実際に入学するまでに制度が変わる可能性、そこで支援気にするご家庭は多分小学校の時点で既にキツイので今必要な支援案内優先すべき、と思う
- 中学受験→高校へ内部進学しようとする人もいるかもしれないから、小学生のうちに知っておくと便利なのではないでしょうか。高校で進学するという場合でも、中学 3 年の告知だとさすがに遅すぎると思います。受験勉強のことも考えると、早い方が良いのではないのでしょうか。
- 1～3 では理解できない。4～6 くらいから意識をつけておいた方がはやく行動に移せる。

<「中学校1～2年生の頃」と回答した人>

- 早い段階で知るべき
- 早めに知ったほうが計画を立てられるから
- 早めに知っておいた方がいいと思うから
- 早めがいいから。
- 余裕が出来るから
- 支援を必要とするまでに知っておきたい。
- 進路選択より前
- 高校を選ぶ基準にしたかった。
- 入試に関わるから
- 進路選択について考え始める時期だから。
- 進路に向けて考えだす時期だから。
- 高校への進学を考える時期であるため
- 進学について考え始めている人がいるため
- 高校への進学が具体的に見えてきた頃だから。
- 自身が高校の進路を考え始めた時期だから。
- 高校への支援については、中学入学の時点で知っておきたいから。
- 高校の選択肢が増えるかもしれないから。
- 進路を決めていく段階で、早いうちに知っておけば幅を広げられるから
- 高校の進路選択の前の時期に知っておくことで、高校進学という選択肢が生まれやすくなると思います。

- 支援があることを知っていれば、高校に行く選択肢を現実的に考えることができるから。漠然と高校を考え始める中学 1、2 年時に知っていれば、進路を考えやすい。
- ギリギリに知らされるより、高校について考え始めるであろう中 1、2 の頃に知っておいた方が、高校進学率も上がると思う。
- 仕事上、高校進学を諦めた親子を見てきたが、大抵このような支援制度を知らない人たちだったと思う。子どもの選択肢を親が狭めないようにするためにも中学在学中、早めに知れると良いと思う。
- 高校選びは進路選択の幅が一気に広がるため、それを警戒する親は早いうちから「公立だけ」「私立はムリ」と吹聴するから
- 家計の関係で高校に進学するか、就職するか迷っている人が、この時期に支援制度の存在を知れば、高校進学に前向きになるかもしれないから。それより前だと存在を忘れてたり、それより後だと受験勉強が間に合わず、就職を決める人もいると思うから。
- 多くの人が高校進学を考え始めるのが中学入学直後だと思うので、早めに高校における経済的支援があることを知り、それを基に高校進学におけるお金について検討してもらえたら良いのでは
- 高校進学が迫ってくる前に知っておいた方が進路に向けた希望が生まれやすい
- 受験期前に知っていれば、高校の選択肢が増えるから。
- 高校受験を意識する時期支援がある可能性があるを知ったら選択肢が広がるため
- お金のことで自分の行きたい高校にいけないという同級生がいて、2 年生ごろからオープンキャンパスなどに行くため、そのころに選択肢を増やせる方が良いと思った。
- 高校受験について考え始める時期で、3 年生になってからでは少し遅いと感じるから。
- 中学生になると強く高校を意識するようになるから。
- 早すぎると忘れられたり興味を持たれづらい、そこまで先のことを考えられないと思うため。中学 3 年生になってからはせわしないと思うため。
- 3 年生にはもう進路を決めなきゃいけないので、その前には決めれるように少し早めにあると良いと思う。
- 未就学児、小学生の時にはまだ将来のお金のことを考えるには早いと考える人が多いと思うから。中学生になった時点で高校について考える子どもや大人は多いと思うから。中学生 3 年生になってから知っても、進路選択をかえるのは難しいと思うから。
- 中 3 からでは受験のことで忙しい。1.2 年生ことから知っている方が支援をしっかり受けられる安心感も強いと思う。
- 中学 3 年生は、受験があるため勉強に必死な時期であるから。
- 中学 3 年生になると、成績や試験のことに集中したいために、中学 1 年生などの段階で知っておきたい
- 中学 3 年生になってからだと進路について考える余裕が他の学年より少ないため。

- 制服代教材代支援は本当に知らないまま卒業してしまったので、もっと周知されていると思います。また、中学校で私立に行くのをためらってしまう子のためにこのチラシは使われるといいなと思います。
- 小学生では理解できないとおもったから
- 小学生でこの話は難しいから

<「中学校3年生の頃」と回答した人>

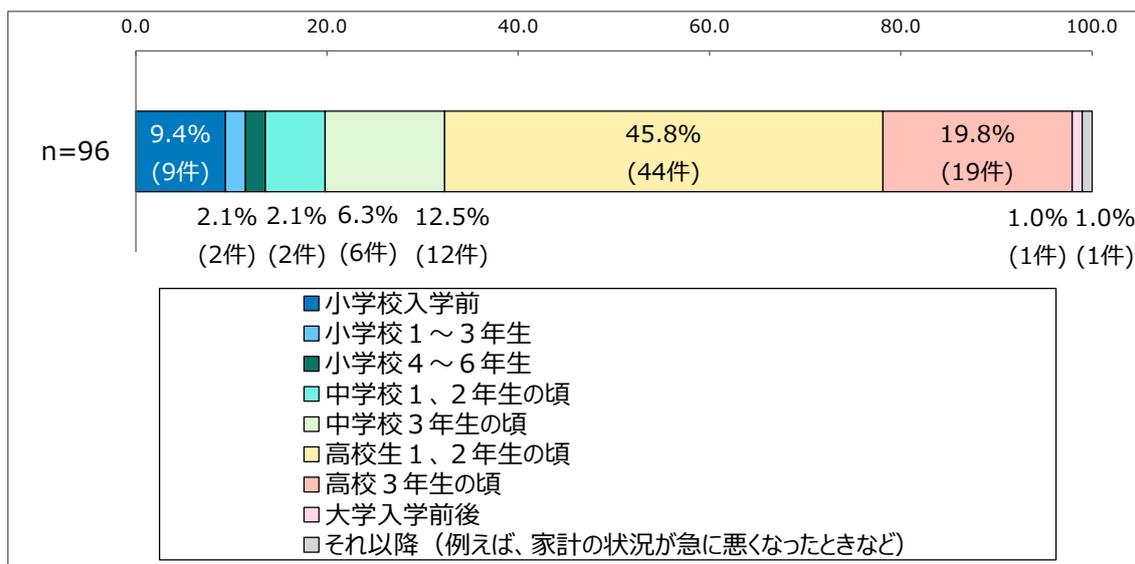
- 進路選択の時期にあたると思うから。
- 高校受験など、進路に向けて具体的に考える時期だから。
- 進路を決める時期だから。
- 進路を本格的に決める時期なので
- 受験するタイミングで知れたらいいと思うから
- 高校進学について準備が始まるから。
- 高校のことについて知りたいから
- 高校進学を考えるから
- 義務教育の終わりが見え個人の希望する進路により教育にかかる費用が否応でも意識に上ると思ったため
- 高校選びのときにお金の心配をせずに決めれるから
- 受験期に知れたら、お金の関係で進路を諦めなくて良いと思うから。
- 中学校3年生の頃知っていたら、諦めずに高校にいけたかも知れないからです。
- 進路を意識した時期に支援があると知ると、ある程度家計の心配をせずに進路を決定できるから。
- 進路が決まるのは中3くらいだと思うので。経済的理由で進学に躊躇する前に、進路指導と一緒に周知してほしい
- 進路を考える時に、私立と国公立って理由で志望校を考えてほしくないから。
- 高校の進路を考える前に支援があることを知りたいこのような支援について中学生の時には考えていなかった自分が支援の対象になるかどうか知らなかったので知ったうえで進路について考えると安心して進路選択ができると思うから
- 進路を真剣に自分事で考えるのは中学3年生で、公立に進むか私立に進むか、親のお財布事情も影響してくる。このタイミングが子どもも親も響くと思う。
- 中3の時友人が「私立に行きたいけど、学費が高い」と言っていて、ちょうどその頃に支援金のチラシが学校で配布されて、友人は家族に相談したそうです。
- 志望校を選ぶ時の判断材料になると思ったからです
- 高校選択の参考にもなるから
- 受験校を決める参考になるから。

- 学校を決める時、費用は重要になる。学校を決める段階で補助制度について知り、適用対象かどうかハッキリさせておくと良いと感じる。
- 高校受験を受ける段階で、年間いくら必要でトータルいくらなのか知らないで、高校行ってからお金がまわりませんでしたという結果にしたくないため
- 高校生になる前にそういった情報を知ることによって高校に入っても、子どもや保護者が苦しい思いをしなくて済むから
- 高校に上がるときにすぐ思い出せるタイミングだと思うから
- 進路が決まってからでないといつどのタイミングで受けれる支援なのか分からなくなりそう
- 進学が目前にならないと興味を持たないと思うから。
- 各高校のパンフレットに載っているから現状のままで大丈夫
- 十分な準備、申請ができる期間がほしいから。

<「高校入学前後」と回答した人>

- 知らなければ、お金の為に断念をしてしまう子がいるから。
- 意識したときに情報がほしいと思うから

Q9. 【大学・専門学校などの支援について】大学・専門学校などの授業料、入学金、生活費 などへの支援について、どのくらいの時期に支援があることを知っておきたい(もしくは知っておきたかった)と思いますか。または、自分の保護者の人に知っておいてほしいと思いますか。(単数回答)



Q9-SQ. その理由を教えてください。(自由記述)

<「小学校入学前」と回答した人>

- 早いに越したことはない。
- 早いほどよいから
- 支援があると早めにわかる方が助かると考える
- 前の設問と同じ理由(入学のために備えをしていると思うし、あらかじめ早い段階から知っておくことで心持ちも変わってくるとおもう)
- 大学進学を早めに諦めなくて済むから。
- 公立の中学校に通っている場合、中学1、2年生までに知っていたら私立の高校を第一志望にする子が増えると思う。中学3年になってからだと高校受験まですぐなので高校の事が最優先で、大学や専門学校の事までじっくり長い目で考える余裕がないと思うから。
- 学資保険に入る時に知っていなかったら合わない保険に入ってしまうかもしれないから。
- 子を産む前から必要。子供1人を育てるのに2000万必要と言われる状況を変え、出生数が減っている現状でこども家庭庁の予算を出生数で割ると新生児1人に634万円配れるので、子供への直接的な経済支援をし、親の経済的負担感からの産み控えを減らすべき。子ども手当のように一度作った制度は改悪しないこと。
- 小学校入学前から支援があることを知っていれば、長期的な計画が立てられるため
- 小学生等の期間を限定せず、出生直後から高い頻度で定期的に周知が必要だと考えます。親は日常の何でもない日に近い将来や遠い将来のことを話し合うため、常日頃の周知がこの時に活かされます。

<「小学校1～3年生」と回答した人>

- 中学受験の決定に関係するから。
- 大学の方がよりお金がかかるため小さいうちから知っておくべきだから。

<「小学校4～6年生」と回答した人>

- 高校と同じくらいに大学も考えると思う。勉強計画に支障がでない。
- 学費のために大学や専門学校へ通う年齢の約10年前から親子共に把握してる方がよい

<中学校1、2年生の頃」と回答した人>

- 進学出来るかどうかで中学の勉強のモチベーションが変わるから
- 入試に関わるから

- 大学進学を見据えて高校を選びたい人もいると思うので、受験する高校を決め始める中学 2 年生までには知っておけると便利だと思います。
- 大学に興味を持つ時期だから。
- 中学三年生は高校の進学に集中するため、大学まで見据えるのは大変だと思う。
- 大学の支援がわかると、高校の選択肢が増えるかもしれないから。

<「中学校3年生の頃」と回答した人>

- 大学進学について真剣に考える時期だから。
- 大学への進学が具体的に見えてきた頃だから。
- 高校卒業後の進路も見据えて高校進学をすることがあるから。
- 中高一貫校の生徒は、中 3 ごろから進路について考え始めるので、考え始める頃に提示してもらえると将来の幅が広がるから。
- 受験するにあたってこのようなものがあると選択肢が広がる人もいるだろうから。
- 高校選びはその後の進学就職まで見越して選ぶから。
- 高校を選択する際、進学を視野に入れるか就職するか考えられるように。
- 高校進学も大学選びに大きく影響するため、高校卒業後の進路を考えるためにも参考になる資料がなければならない。
- 高校に入る前に分かった方がいいと思ったから
- 高校入学直後から大学等進学か就職かを考える機会が多くなるので、その少し前に支援を知っていたら進学の有無、進学先についてよく考えられるのではないか
- 進路を決める中で、高校の先も考えている人が多く進学率などを実際に高校は掲げている。進学という選択肢を持つておくことは重要だと考える
- 早くから知っていても、また忘れてしまいそうだから。

<「高校生1、2年生の頃」と回答した人>

- 不安だから
- 早めがいいから。
- 大学の進路は早めから考えるから、高 3 よりも入学したときからの周知が大切だと思う。
- 大学への支援については、高校入学の時点で知っておきたいから。
- 大学進学が目前に迫るよりも前に、将来への不安をなるべく軽減させた方がよい
- 支援を必要とするまでに知っておきたい。
- 進路決定まで時間が有るので、選択肢として考える余裕があるから
- 大学進学を考え始めるときに知ると良い。あまり早いと興味がなくてどこかに置いてしまうかも。
- 進路を考え始める時期だから。

- 進路選択より前
- 大学進学を考え始める時期だから
- 進学先を考え始める時期だから
- 受験期前に知っていれば、将来の選択肢が増えるから。
- 行きたい大学を決めるのがそのぐらいに時期だと思うから
- 大学を意識するのはこのくらいだと思うから
- 大学について考え始めるのが高 1,2 だから
- 中学生の時点で大学、専門学校について考えてる子どもや大人は少ないと思うから。高校1, 2年生の時には進学先を悩み始めているため、一緒にお金についても考えることができるため。
- 二年生で、進路を選択する上で一番大事な事。
- 2年生の頃から大学を決め出すため。
- 2年生から大学のことを考え始める人が多いと思うから
- どの大学や専門学校に行くか、そもそも大学や専門学校に行くか決めるのは高 1、2 だと思います。
- 大学受験に向けて 2 年生頃から進路を考え勉強をはじめめるから。
- 大学を選ぶ前に知り、納得した上で受験勉強にしっかりと向き合えるようにしたかった
- 高2で既に進路選択を迫られる時代、高校入学後すぐにでも知り、自分の家庭が該当するか否かを把握しておくだけでも選択肢が異なってくると思う。
- 進路選択の時期の前に知っておくことで、大学に行くという選択肢が自分や家族の中に生まれると思います。
- 家計の関係で大学・専門学校に進学するか、就職するか迷っている人が、この時期に支援制度の存在を知れば、進学に前向きになるかもしれないから。それより前だと存在を忘れたり、それより後だと受験勉強が間に合わず、就職を決める人もいると思うから。
- 高校生のときに大学の学費について学んでいれば、自らの将来について家族と相談することができる。
- 志望校の設定をするのに影響が出そうだから。高 2 くらいでお金の情報があると、県外の大学に行きたいときでも親を説得しやすいと思う。
- 高校卒業後の進路を考え始める時期だから。大学に行きたいのに、支援を知らず専門学校や就職に舵を切ってしまう生徒が出ないよう、受験が本格化する前に知りたい。
- 高校に入ったときに知れると家計との調整が上手くいくと思うから
- 高校2年で父親を亡くし家計が急に悪くなったため、そんなときにこんな制度があることを知れていたら安心して勉強できたのになと思います。
- 高校3年生の段階では遅すぎる。
- 高校3年生になってからだと進路変更などが面倒。1.2 年生のことから調べて自分の行きたいところに行けるように慎重に考えられるようにしてほしい。

- 高校3年生になると、成績や試験のことに集中したいために、1年生などの段階で知っておきたい
- 高校までとちがって大学の時は特にお金がかかるイメージがあるから
- 大学に行かない人もいるから。小学校では必要ないけど、Q8-SQ 同様早めに知りたいたから
- 前の設問と同文。(中学3年生は、受験があるため勉強に必死な時期であるから。)
- 高校3年生になってからだと進路について考える余裕が他の学年より少ないため。
- Q8-SQ とおおむね同じ理由(早すぎると忘れられたり興味を持たれづらい、そこまで先のことを考えられないと思うため。中学3年生になってからはせわしないと思うため。)。ただし公立でも高校以上にお金がかかるため、高校1年生後半頃に概要だけでも知っておきたいと思う。進路を意識した時期に支援があると知ると、ある程度家計の心配をせずに進路を決定できるから。
- Q8 と同じ(高校の進路を考える前に支援があることを知りたい。このような支援について中学生の時には考えていなかった。自分が支援の対象になるかどうか知らなかったので知ったうえで進路について考えると安心して進路選択ができると思うから。)
- 高校に進学したからといって、必ずしも、全員が大学に進学するとは限りません。私の母校の例ですが、私が在籍していた特進コースを除いて、他の科のコースの看護科などの将来性が決まっていたものもありました。だからといって、進路変更をして、大学進学を目指す場合もあるので、可能性を狭めないで、入学後が良いかもしれません。

<「高校3年生の頃」と回答した人>

- 必要な時期だと思うから
- 早すぎても忘れてしまうから
- 進学が目前にならないと興味を持たないと思うから。
- 進路に向けて考えだす時期だから。
- 進路選択の時期にあたると思うから。
- 受験するタイミングで知れたらいいと思うから
- 志望校を決めるから
- 大学選びのときに自分の選ぶ範囲が広がるから
- 大学選択の参考にもなるから
- 志望校を選ぶ時の判断材料になると思ったからです
- 受験校の参考になることに加えて、大学生の生活を意識しやすくなる。
- 大学を決めるときに学費がわからないと行きようがないからです。
- 支援の内容次第で受験する大学が変わると思ったため
- 進路検討の際に費用のハードルを下げるため、進路検討の段階で知るのがいいと思う。

- 高校と同様(進路を真剣に自分事で考えるのは中学3年生で、公立に進むか私立に進むか、親のお財布事情も影響してくる。このタイミングが子どもも親も響くと思う。)
- 進学したタイミング、家計の状況が悪くなったタイミングすぐ支援が受けられるように進路選択をする段階で知りたいと思うから。
- 大学進学にとっても費用がかかるから。どのくらい支援があるということを知っておきたいから。
- 大学に上がるときにすぐ思い出せるタイミングだと思うから
- 高三の段階だと受験などと重なっており、本人に余裕がないのと、高校と比べてかかる費用が莫大になるため、高校 1.2 年生の段階からされた方が良いかもしれない

<「それ以降(例えば、家計の状況が急に悪くなったときなど)」と回答した人>

- こちらの状況に合わせて自然と情報が届くような仕組みだとよいと思ったから。(納税の状況に応じて案内のチラシが郵送されるなど。)